



名古屋アメリカン・センター

〒450-0001 名古屋市中村区那古野 1-47-1

名古屋国際センタービル 6 階

Tel: 052-581-8631 Fax: 052-581-3190

レクチャー & ディスカッションご案内

中国の台頭～地域安全保障への影響

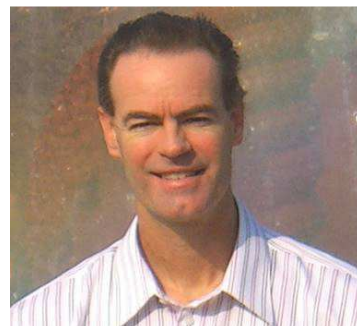
(日英逐次通訳・入場無料・定員 80 名先着順)

- 日時 2009 年 3 月 23 日(月)午後5時30分～午後7時 (受付開始 午後5時)
- 会場 愛知大学 車道キャンパス 本館 902番教室 (地下鉄桜通線 車道駅 徒歩2分)
<http://www.aichi-u.ac.jp/profile/07.html>
- 講師 デニー・ロイ博士 イースト・ウェスト・センター、シニアフェロー
- 主催 名古屋アメリカンセンター 愛知大学国際中国学研究センター

世界的景気後退の影響は深刻であるものの、経済急成長と共に影響力がグローバル化した中国。その軍事力の増強が、実態が不透明なまま、国際社会での懸念や憶測を生んでいます。中国はどの分野でどれだけ強力なパワーをもつのか、その目的は何か、その外交・安全保障政策は、オリンピック開催を経て変化はあったのか。2月のクリントン国務長官の中国訪問では、金融危機対策への協力をはじめ、軍事交流の再開、対話と交流の強化が合意されました。米国新政権下で、米中関係、日中関係はどう展開していくのか、中国の台頭は、台湾問題、海洋資源問題などを抱える東アジア地域の安定にどのような影響を与えるのか、米国の専門家と共に皆様と考える機会とたく存じます。

講師略歴 Dr. Denny Roy

2007年より現職。北東アジア、特に中国の政治・安全保障問題を専門とする。各国の軍事戦略・外交政策および、国際関係理論や人権問題について幅広く研究している。イースト・ウェスト・センターで仕事を始める前は、ホノルルのアジア太平洋安全保障研究センターに7年間勤務。それ以前の1998年から2000年まではカリフォルニア州モントレーの海軍大学院に所属、中国、アジア史、東南アジア政治などの授業を受け持った。アジアの人権と安全保障に関する革新的な講義をしたことでも知られる。1995年から1998年までは、オーストラリア国立大学（キャンベラ市）の戦略防衛研究センターで、リサーチ・フェローとして北アジアの安全保障問題を専門に研究した。1997年には、シンガポールの陸軍訓練学校にコーディネーターとして出向している。台湾、韓国、シンガポールなどでも仕事の経験があり、また、中国、タイ、韓国、シンガポール、台湾、日本、オーストラリアなどの国際会議でプレゼンテーションを行ったことがある。学術誌などに寄稿多数。シカゴ大学より政治学の博士号を取得している。



著書：*Taiwan: A Political History* (Cornell University Press, 2003)、*China's Foreign Relations* (Macmillan and Rowman & Littlefield, 1998)。

★ご出席の場合、別紙ファックスまたはメールにてお申し込みください。

★定員に達し、ご参加いただけない場合のみご連絡させていただきます。